

# Discover My Dream



身延高校のキャリア教育の特徴は、「将来就きたい仕事」から逆算して考えることです。将来の夢が決まっている方も、まだ決まっていないという方も、どちらの方にも身延高校ではみなさんが安心できるように、ドリームプロジェクトというプログラムを組んでいます。

ドリームプロジェクトのテーマは一年生が「夢の発見」、二年生が「夢の育み」、三年生が「夢の実現」です。

一年生の春には「職業研究」を行います。まず「職業適性診断」にて多くの職業に対する適性を図ります。このとき、皆さんがすでに知っている職業だけでなく、まだ知らない職業についても適性が診断されるので、「職業」に関する見識がここで広がります。また「資格パズル」にて世の中にあふれる資格について知ることで、資格と職業のつながりを勉強します。

このような職業研究をすることで職業に対する知識を広げ、自分自身に必要なスキルは何かということを考えていきます。

二年生では、必要なスキルを獲得・向上させるために、自分自身に必要な授業を選択します。また、ポスターセッションなどを通じ、発信力を高めていきます。

三年生では、夢の実現に向けて学力を高めるだけでなく、面接・小論文個別指導など、一人ひとりが必要なことを頑張るために、全職員が全力でバックアップします。

今年の一年生は、ICT教育のひとつとして、学習支援クラウドサービス「Classi」を導入し、学習活動や学校活動の記録を通じて、学習の「自立」を目指すだけでなく、一人ひとりのステージに応じた学習を支援しています。



## 求められる学力観

主体性  
人間性

充実した人生を  
どう実現するか

確かな  
知識  
技能

何を知っているか  
何が出来るか

思考力  
判断力  
表現力

知っていることを  
どう使うか

身延高校は、普通科目を基軸にした総合学科高校だからこそ

**多様な学びの内容**  
「各教科」から  
「仕事」「職業」の学習まで

**多様な学びの方法**  
講義形式から探究学習・  
グループワーク・発表形式

●生徒一人ひとりの多様な進路実現をサポートできます

●求められる学力や新しい大学入試制度に対応できます

●変化の激しい社会に対応できる主体性・多様性・協働性を育みます

## 校長の



生徒の頑張りや本校の取り組みを皆さんにしっかりと伝えるため「身高VIEW」を一新しました。時代が求める学校となること。明るく楽しく、安全・安心に充実した学校生活を送り、生徒一人一人がそれぞれのキャリアプランを胸に進路決定をしていく、そんな学校となるために取り組んでいる様子が伝わればと思います。

県高校総体では、男子総合12位、女子27位となりました。1学年3クラスの本校が、多種目にわたる総合得点で他の高校と互していくのは並大抵のことではありません。皆、伝統を胸に素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。

夏のインターハイ全国大会もすでに、陸上、柔道、男子ソフトテニス、男子ソフトボールの各々が出場を決めています(こちらの活躍は次号で)。

今本校は、2つの大きな教育改革への対応で大忙しです。一つは、平成34年から年次進行で導入される新学習指導要領であり、もう一つは、大学入試改革を含む高大接続改革です。特に大学入試改革は、中学三年の皆さんから始まります。基礎的な知識技能の定着を測る「高校生のための学びの基

礎診断」が全国全ての高校生に実施されると共に、大学進学希望者には、センター試験に替わり思考力・判断力・表現力など活用力を測る「大学入学共通テスト」が、そして2次試験においては、高校時代に身に付けた主体性や協働性が積極的に評価される大学独自の試験が実施されます。

高校には、改めて①基礎基本の土台作りと②その基礎力を応用・活用し表現していく力を養成していく体制が求められています。本校では、「普通科目を基軸とした総合学科高校」という本校の特色を生かし、①の観点から改めて普通科目を中心に教育課程の見直しを行いました。②の観点から総合学科高校の柱である3年間のキャリア教育の見直しを行いました。

3年間のキャリア教育につきましては、本年度一新した「学校案内」に詳しく載せてあります。またこの「身高VIEW」4面に「Discover My Dream」欄を設けて、1年次生の中心科目「産業社会と人間」を中心に具体的なキャリア教育の活動を毎号お伝えしていきます。ご期待ください。

追伸、今回は、つぶやきというより所信表明のようになってしまいました…。

# SHINKO 身高VIEW

創刊号 Vol.1  
2017 July  
MINOBU HIGH SCHOOL

## 新年度スタート号



# 山梨から関東 そして全国へ!!

山梨から関東  
そして  
全国へ!!

# 各部の活躍と大会実績

## 第69回山梨県高等学校 総合体育大会

- 陸上競技部  
男子総合…第2位  
女子総合…第5位

## 関東大会出場

- 男子ソフトボール
- 男子ソフトテニス
- 柔道
- カヌー
- 陸上

学校対抗総合得点 男子12位 女子27位  
応援ありがとうございました!!



ソフト  
ボール  
男子



陸上



ソフト  
テニス



野球



ソフト  
テニス



陸上



柔道



カヌー

Pick up!! student 文武両道を目指す!!



『抱く想い』 1-C 珊瑚龍之介(南部中)

身延高校に入学してから忙しく過ぎていく日々の中で、私は充実した高校生活を送っている。中学とは一変した生活スタイルにも慣れ、高校総体や第一回定期試験なども無事乗り切ることができた。入学一ヶ月後に迎えた県高校総体では、身延高校生の一員として全力を出し切ることができた。部活動の中での先輩方や先生方の手厚く思いやりのある指導が、1年生でも集中できる環境を与えてくれたからである。定期試験は1回目ということもあり、しっかり対策をした上で臨んだ。部活動との両立は難しく、できるだけ時間をつくれるよう努めた。先生方も、私たち1年生が高校最初の試験で失敗しないように、対策を一から丁寧に教えてくれた。そのお陰もあり、順調なスタートができた。今になって考えると、入学当初の不安は全く不要だった。愉快的なクラスメートにも困まれ、これからの高校生活もより豊かになることだろう。そして私は学業と部活動の両立を目指し努力していく。誰よりも先を走るために…。

## 吹奏楽



『少人数だってできる!!』

吹奏楽部3年 渡辺千紗(中富中)

5月28日に身延高校吹奏楽部第48回定期演奏会が行われました。多くのお客様に来ていただき、大成功を収めることができました。私たち吹奏楽部員は21名という少ない人数のなか、1、2、3年生全員が協力し、一丸となり活動をしています。私たちは「踊る吹奏楽部BLAZE」としても活動をしています。今回の定期演奏会の第一部でも披露させていただきました。みんなでダンスの動きをそろえるのは、大変でしたが、本番では練習の成果を出すことができました。第二部では一般バンドの皆さんをお迎えして音楽物語「魔女の宅急便」を演奏しました。大道具や脚本など全て部員が作成しました。出てくるキャラクターの声も部員がやり、多くの方々から好評いただきました。私たちがここまで来られたのは多くの方々への支えや応援があつてこそだと思います。これからも少人数でもできる事を見つけ、頑張っていきたいと思っています。

## 『関東大会に出場して』

陸上競技部3年 今村海渡(下部中)

3年の最後の山梨県高校総合体育大会、私は男子やり投げに出場し、優勝で県予選を通過することができました。関東大会は千葉県で行われましたが、会場の雰囲気、観客の人数、会場に流れる空気感、どれも県大会や今まで出場してきた関東大会とは大きく異なっていました。緊張はしていませんでしたが、最後のインターハイ出場がかかっているということもあり、独特のプレッシャーを感じていました。練習中も周りの選手たちがとても強そうに見え、不安も感じました。しかし、2年生の時にインターハイに出場しているということもあり、今年は「絶対に負けない」という思いが一番強かったです。大雨の中での試合で少し焦ってしまいましたが、日頃の練習や今まで経験してきた雨の中での試合を思い返して3投目にベスト記録を出すことができ、インターハイの切符を手に入れました。今までの練習の成果やたくさんの試合の経験が生きた結果だと思います。最後のインターハイですが、悔いの残らないように残りの日々を過ごしたいと思っています。

## 『小さな積み重ね』

ソフトテニス部3年 志村大地(増穂中)

私は高校から「友達が入るから」という軽い理由でソフトテニス部に入学しました。しかし、初心者の私が部活動で掲げた目標は「関東大会出場」その目標を約2年間必死に努力して叶えることができました。それだけの努力ができたのは、ソフトテニスが好きになったからです。入学した理由は希薄でしたが、入学してからソフトテニスにのめり込むまでに時間はかかりませんでした。そして夢になるにつれて自分の中で「勝ちたい」という気持ちがどんどん大きくなりました。私は毎日日記をつけました。そこには毎日小さな課題を記し、それを達成できたかを書きます。また、掴んだ感覚を感覚的に覚えているだけではなく言葉で表現することで理解を深めました。そうした毎日の小さな積み重ねが、「関東大会出場」という目標を叶えさせてくれたと感じています。私は関東大会出場の経験を通じて毎日の積み重ねこそが大きな結果を掴むための唯一の手段だと実感しました。

## 『柔道で得た一生の財産』

柔道部3年 塩谷桃花(身延中)

私は、柔道の女子団体で三年連続関東大会に出場することができました。女子団体は身延高校を含め六校しかなく、他競技から見たら簡単なことのように思われるかもしれませんが、特に今年は昨年までと違い厳しい予選でした。その喜びは大きく、これまでの練習や苦勞が報われたと感じました。関東大会では、全く歯が立たないほどの出場校とのレベルに差があります。私は、たとえ負け試合でも出場する事に意味があると思っています。関東大会の舞台を経験したくてもできない人がいて、会場や選手の気迫や雰囲気を味わいたくても味わえない人がいます。それを考えると自分は関東のハイレベルな高校の選手と戦い、ハイレベルな試合を観ることができて幸せ者だったと感じます。誰もが経験できることではなく、私自身もう二度とできない経験です。三年連続関東大会出場は、私にとって貴重な経験であり「一生の財産」です。

## 『カヌー部』

カヌー部2年 河西知尚(身延中)

私たちカヌー部は選手11人マネージャー3人の計14人で活動しています。山梨県にカヌー部がある高校は身延高校と富士河口湖高校の2校しかありません。それでも私たちは大会でいい結果が出せるように日々の練習をがんばっています。カヌーはいくつかの種目にわかれており、私たちは「スラローム」という種目で関東大会に出場しました。スラロームは決められたコースを障害物に当たらないよう時には急流を上ったり下ったりしながらタイムを競う種目です。私は関東大会で5位に入賞することができました。ですが、まだ反省する点が多くあり、これからの練習で克服していきたいです。また、8月と9月にはカヌーポロの大会があるのでこの大会に向けて戦術やフォーメーションを練っていききたいです。私はカヌーを始めて1年半ですが毎日練習が楽しく充実していて日々成長を実感できています。何事もまずは楽しむことが成長の近道なのだとカヌーを通じて学ぶことができました。まだ2年生なので来年は関東大会でもっといい成績が出せるように毎日の練習を楽しんでいきたいです。